

平成 27 年度認知症対策事業の主な取組みについて

1. 普及啓発

【認知症サポーター養成講座】

- ・ 新たに市内の百貨店および各警察署において実施。
- ・ キャラバン・メイトを対象としたフォローアップ研修を実施(3月17日予定)。

【認知症をテーマとした介護予防教室の実施】

- ・ 地域住民や各種団体を対象として地域包括支援センターで実施している介護予防教室において、認知症をテーマとした講座を実施。

【パンフレット等を活用した市民等への普及啓発】

- ・ 認知症の早期発見・早期介入を促す啓発チラシを作成し地域包括支援センター等を通じて配布・周知。
- ・ 各区障害高齢課窓口へ認知症に関するパンフレットを設置。
- ・ 介護予防月間をはじめとした各種イベントでのパンフレット配布など、あらゆる機会を通じての周知活動。

2. 早期発見・早期対応の促進

【認知症地域医療支援事業】

- ・ 認知症サポート医の養成および、認知症サポート医フォローアップ研修の実施。
- ・ かかりつけ医認知症対応力向上研修の実施。
- ・ 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修を仙台徳洲会病院にて実施。
- ・ 日常診療に役立つ認知症対応力向上講座の実施。

【認知症初期集中支援推進事業】※詳細は資料2に記載

- ・ 初期対応サポートチームを2チーム設置し、対象エリアを3区(青葉区・宮城野区・泉区)の32地域包括支援センターに拡大。

【認知症地域支援推進員の配置】

- ・ 地域の実情に応じ、認知症の人とその家族を支える体制づくりを行う認知症地域支援推進員を養成する為の認知症地域支援推進員研修を実施し、50地域包括支援センターに配置。

3. 認知症の人とその介護家族支援

【認知症介護家族支援事業】

- ・ 物忘れ電話相談、認知症介護家族向け介護講座・相談会を認知症の人と家族の会宮城県支部へ委託して実施。
- ・ 各区役所において、認知症介護家族交流会を実施。
- ・ 認知症カフェ等開催団体との情報交換(意見交換会・勉強会)を実施。
- ・ 認知症カフェ等の開催情報を収集し、認知症カフェの分類を整理した上で一覧にまとめ仙台市ホームページに掲載。

【認知症地域資源マップ等作成事業】

- ・ 平成 26 年度から引き続き実施している 2 地域包括支援センターと、今年度から実施した 1 地域包括支援センターの計 3 か所で実施。

【地域における認知症介護家族交流会事業】

- ・ これまで未受託だった地域包括支援センターのうち、2 地域包括支援センターに委託して実施。

【認知症ケアパスの作成】

- ・ 認知症当事者・介護家族・有識者・地域包括支援センター職員・区役所障害高齢課職員をメンバーとしたワーキングを計 4 回実施して内容を協議。
- ・ 『みんなのために認知症になっても安心できるケアパスをつくろう～わかる・見える・つながるを大切に～』というスローガンを掲げ、当事者や介護家族の視点を重視した構成で作成。

4. 認知症介護の質の向上

【認知症介護研修事業】

- ・ 平成 28 年度新規事業となる「認知症介護基礎研修」のモデル研修を実施。
- ・ 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修を、宮城県との共催分 1 回に加え仙台市独自で 1 回実施。
- ・ 介護報酬改定に伴う認知症介護実践者研修受講希望者増加への対応として、定員を増やして同研修を実施。

5. 認知症施策の検討

【仙台市認知症対策推進会議】

- ・ 本年度より仙台市の附属協議会として位置づけ、より多面的な視点から協議できるよう、認知症当事者をはじめとして委員を拡充。

6. 認知症疾患医療センターの運営

【認知症疾患医療センター運営事業】

- ・ 診療所型認知症疾患医療センターのいずれかの杜診療所に加え、9 月より新たに地域型認知症疾患医療センターとして仙台西多賀病院を指定。

7. その他

- ・ 東北福祉大学と昨年度締結した「認知症対策推進に関する連携協定」に基づき、研修への講師派遣等連携して取組みを実施。
- ・ エーザイ株式会社と、認知症の方とその家族を地域で支え合うまちづくりを目的に連携協定を締結。
- ・ エーザイ株式会社及び NPO 法人宮城県認知症グループホーム協議会と共催で、市民および医療介護福祉関係者向けの認知症セミナーを開催。